

## 立山・室堂周辺スキー

2008. 11. 21~24

メンバー：L菊地、後藤、鈴木、橋立、奥平、乗松、神戸

11月21日(雪)

扇沢で新雪が30cm程積もっている。連休前日の為か、扇沢からのアルペンルートに混雑も無く、順調に室堂に到着したが・・・一歩外へ出ると去年同様、雪が吹き荒れる。視界が悪いので地面と空の区別が付き難く尾根を外し斜面の吹き溜まりにはまったりすると、抜け出すのが大変だ。雷鳥荘に着く頃には風雪は更に勢いを増してきた。小屋に泊まるか週辺にテントを張りたい気分だが、予定通り雷鳥平を目指す。このままポールを下れば早い、急激な積雪に加え、とても重荷を背負って、まともに滑れる状況でない、尾根経由で向かう。ラッセルで時間はかかったが無事に雷鳥平



に到着。しかしこの時に2人顔に軽い凍傷を負った様だ。

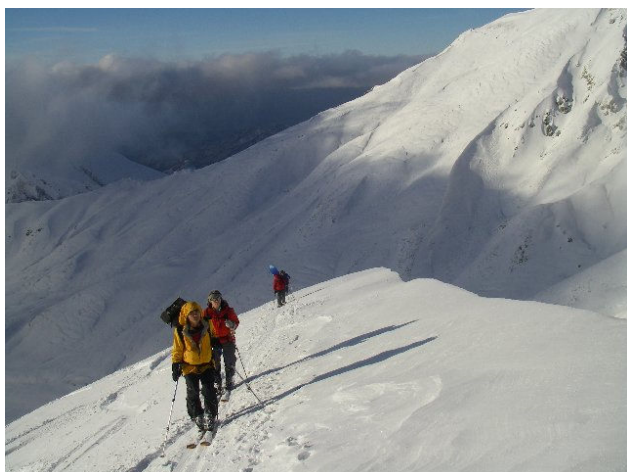
テントは我々の他、前日からの学生パーティと今日入山の単独スキーヤーの3パーティのみ。その後も風雪が吹き荒れテントにこもる。

11月22日(曇り後晴れ)



今日は後発組と合流する予定だ。迷うといけないので室堂に迎えに行く。起きた時はまだ曇っていたが、積雪は更に40センチ増え、急速に天気は回復し快晴となる。気温も上昇し穏やかなツアー日和となる。雷鳥荘の方からスキーヤーやボーダーが次から次へと、気持ち良さそうに降りて来る中を登って行くのはちょっと辛い辛抱！早くも雷鳥沢を登る人の姿も。室堂近くまで来ると、室堂山荘近くでヘリがホバリングしていた。後で知ったが前日の悪天候で、山荘前でスキーヤーが1人亡くなっているのが発見されたそう。

扇沢からの1便目が到着しどっと



人が押し寄せるが、仲間の姿は無く、4便目でようやく合流出来た。聞くと扇沢も凄い雪で大変だった様だ。時間がずれたので予定を変え、直接テン場に向かうと雷鳥平は賑やかなテント村となっていた。

テントを設営し終わると、余り遠くに足を伸ばす時間も無かったので大走谷に向かった。尾根を2665m位まで上がり谷に滑り込む。少し重いが中々のパウダーに満足。鈴木さん橋立さんは尾根の西側急斜面へと消えて行った。こちらも急斜が続き楽しい。

11月23日（雪時々雲）

今朝は再び朝から悪天候で視界が悪い。とてもまともなツアーなど出来そうにないので、テン場前の斜面を滑る事にした。一度、全員で雷鳥荘まで登り返し雷鳥荘前のボールを滑るが、ガスが濃くて時々滑っているのか止まっているのかも判らなくなる。挙句の果てには滑っている筈が、斜面を登っていたりする始末。当然2本目に突入す

る人は少なく、殆どの人がテントに戻ってしまうが、残った数名は視界の悪い中「1日中登っては滑る」を繰り返した。

11月24日（曇り）

今日は薄曇りだが天気は下り坂。テントを撤収し室堂ターミナル周辺を軽く1本滑って締めくくった。今回は天気に恵まれず、思うように行動出来なかったが、

雪質にはそこそこ恵まれ楽しい初滑りとなった。



地形図：立山、劔沢

11月21日

室堂10:45～雷鳥荘11:50・  
12:15～雷鳥平13:25

11月22日

雷鳥平9:20～室堂10:00・12:10～雷鳥平13:00・14:10～大走谷2665m付近15:20・15:50～雷鳥平16:20

11月24日

雷鳥平8:10～室堂9:25・9:40～浄土山付近10:05・10:20～室堂10:30